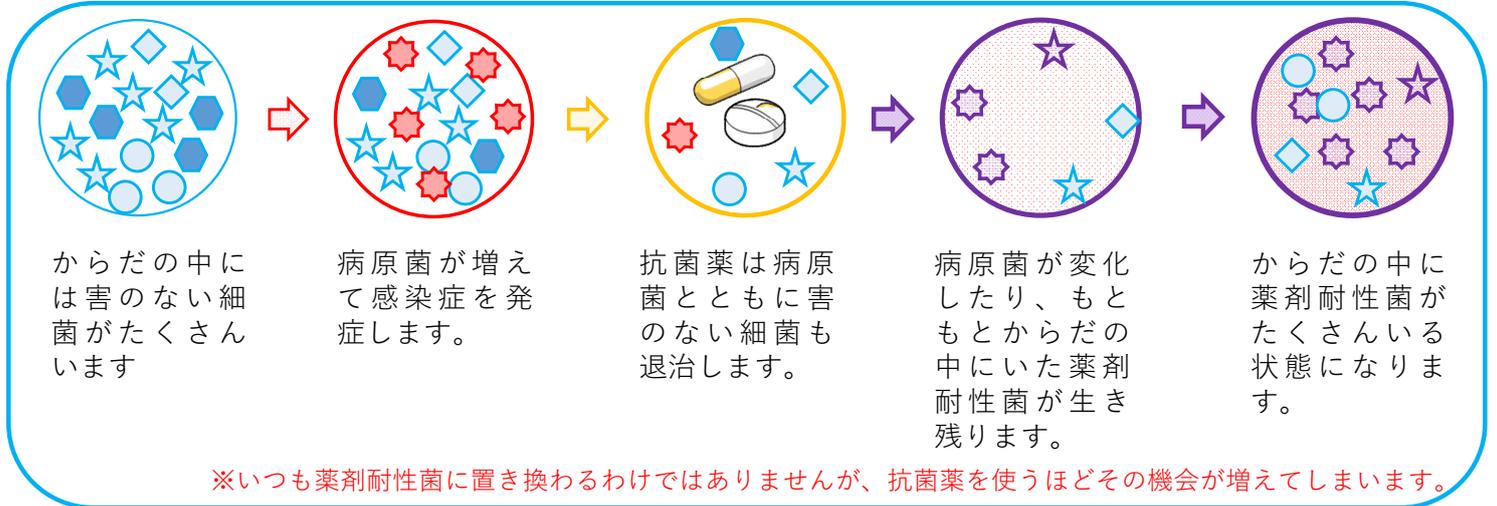


大切です！薬剤耐性（AMR）対策

- ◆ 「薬剤耐性」とは病原体である細菌が変化して、抗菌薬(抗生物質)が効かなくなる、もしくは効きにくくなることであり、英語でAntimicrobial Resistanceといい、AMRと略されます。
- ◆ 抗菌薬を正しく飲まない、からだの中で耐性をもった病原菌が増えて感染症の治療や手術の際に影響を及ぼすことがあります。



薬剤耐性菌を増やさないためには、抗菌薬の効果を正しく理解するとともに、抗菌薬は医師の指示どおり飲みきること、抗菌薬をあげたりもらったりしないこと等抗菌薬の正しい使い方を守ることが大切です。

☆かぜに抗菌薬は効きません☆

- ◆ かぜやインフルエンザの原因となるウイルスに対して、抗菌薬は効果がありません。
- ◆ 必要のない抗菌薬を求めないようにしましょう。
- ◆ わからないことは、医師や薬剤師に相談しましょう。

☆処方された抗菌薬は医師の指示通り服用しましょう☆

- ◆ 医師はあなたの状態に応じて抗菌薬を処方しています。処方された抗菌薬は最後まで飲み切りましょう。とっておいてあとで飲んではいけません。
- ◆ 他の人に処方された抗菌薬をもらったり、あげたりしてはいけません（例えば体重が違うだけでも必要な抗菌薬の容量が変わる場合があります）。

☆日頃からの体調管理と予防が大切です☆

正しい手洗い

- ◆ 手は見た目汚れていなくても、細菌やウイルスが付着している可能性があります。
- ◆ 指先、つめの間、指と指の間、手のシワ等、汚れが残りやすい部分を意識し、石けんと水でよく洗いましょう。

咳エチケット

- ◆ 咳やくしゃみのしぶきがとばないようにマスクをつけましょう。
- ◆ マスクがない時は、ティッシュやハンカチで覆うか、袖の内側で口や鼻を覆いましょう。

ワクチン接種

- ◆ 感染症には、ワクチンで予防できるものがあります。
- ◆ ワクチンをうつと、からだの中に抗体ができ、病原体に対し免疫ができます。感染しにくくなったり、感染しても症状が軽くなったりします。

AMR対策についてより詳しく知りたい方は、AMR臨床リファレンスセンターのホームページも御覧ください！

